

これでいいの？市民センター増改築

中央図書館は、狭い駄倉に分割・移転！ 市民センターはあれこれ詰め込み、改修！

市が決定した「市民センター改修等基本方針」より

総経費 16.7 億円

現中央図書館

1,310 m²

共用部分を除く
専有面積

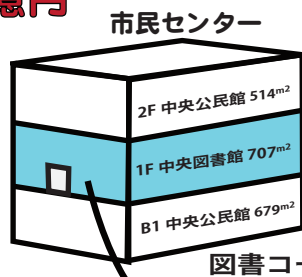
707 m²

駄倉新図書館

1,100 m²

共用部分を除く
専有面積

820 m²



市民センター

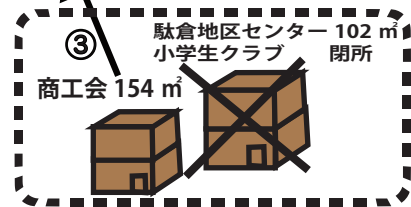
①市民センター改修：整備費 11.2 億円

市民活動支援センター
(こまえくぼ 1234)
小田急高架下 206 m²

①⇒②⇒③⇒④
この間、図書館は
約 2 年半使えない

3 階建
庭なし

④図書館新築・移転：整備費 5.5 億円（解体含む）



Q 駄倉新図書館は市民の要望に応えられますか？

中央図書館として必要なもの：開架書架、閲覧・読書スペース、子ども室、読み聞かせコーナー、新聞・雑誌コーナー、調査室・地域資料室、視聴覚サービススペース、ティーンズ・コーナー、新着コーナー、展示スペース、貸出・相談カウンター、検索コーナー、書庫、対面朗読室、録音室、作業室、事務室、学習室、ラウンジ、エントランス、コピー機、返却ポスト、だれでもトイレ、おむつ替台、授乳室、それと、飲食スペース、キッズスペースなどもあるといいけれど…。

えっ！とても入りきらないよ～。

一般駐車スペースは
取れない？！

だから市民センター
にも一部残すの？

なぜ今の場所ではいけないの？

車椅子やベビーカーを
押して本を探せる広さ
はあるのかなあ。

3 フロアで
移動も大変！
ロビーのスペースも
取れない？！

児童書だけ市民センターにつ
て市長さんが言ってたけど、
お母さんの本と私たちの本と
両方借りるの、とっても大変

別の建物になったら、そちらに
ある本はすぐ貸してもらえるの
かな。

書架の間を広げ、ゆっくり読める
スペースを確保すると
本は今の図書館の約 6 割に

本はもっと増えるん
だろうが。

中央図書館として資
料相談や保存の機能
は果たせるの？

電子書籍が増えれば
いいんだけど人も
いるけど、…。

ゆっくり本を読める
場所はできるの？

新刊書や専門書は、
電子書籍ではカバーできない

**市の基本方針を一旦保留し、市民の声を聞いて、使いやすい
市民センター（公民館・図書館）を創りませんか。署名を集めています。**

ちょっと待つて図書館移転連絡会こまえ

連絡先：周東三和子 090-9012-0654
mshuto2612@gmail.com

(詳しくは裏へ)

2022.2

ちょっと待って図書館移転！

なぜ署名活動しているのですか？

市民センター（公民館・図書館）の増改築は市民の長年の願い

狛江市ではこれまで、狭くて古くなった市民センター（中央図書館・中央公民館）を、文化と社会教育、市民活動の拠点として、より使いやすい施設に増改築したいと、多くの市民の参加のもと議論がすすめられてきました。

市と市民が協働でつくった「市民提案書」

2014年にそれまで市がすすめてきた改修計画を凍結し、2016年には市と協定を結んだ「市民センターを考える市民の会」によって「狛江市民センター増改築に関する市民提案書」がまとめられ、市長に提出されました。提案書は「人がつながる公民館、暮らしを豊かにする図書館」として、コミュニティスペースの新設など公民館は約800㎡増、図書館は約1900㎡増を目安として提示しています。

突然聞いたこともない「基本方針」が！

この市民提案書を基に、2017年から市民団体も含めていくつかの調査や提案が行われ、2020年3月、市民センターの増改築案についての市民アンケートが実施され、集計結果も出されました。ところが、2020年8月に決定として突然出された市の「市民センター改修等基本方針」は、これまでの議論とはかけ離れた狭い駄倉地区での図書館建設でした。基本方針を決める際に、市民の声はもちろん、関係する図書館・公民館職員の意見を聴くことはありませんでした。方針発表後の市民説明会では圧倒的に反対の声が出され、公の機関である図書館協議会、公民館運営審議会からも意見書が出されました。

駄倉新図書館は「本を増やして、もっとゆったり」との市民要望に応えられるの？

専有床面積は110㎡ほど増えますから、単純な面積比で現状の17万冊から20万冊に16%ほど蔵書数を増やせますが、圧迫感のある現状はそのままです。一方駄倉新図書館と同程度の面積の図書館事例ではゆったりしたスペースは確保できますが、新図書館に換算した蔵書数は約10万冊と現状の6割弱に減少します。どちらの場合でもスペースと本を増やしてという長年の市民要望には応えられません。

3階建になり、共用面積が狭くロビーも取れず、庭もありません。2台の駐車場は専用となり、一般利用者は使えないでしょう。また市民センターに残すとされる図書コーナーは広さも位置づけもあいまいなうえに、場所も離れており、新図書館利用者には不便です。要望の多い滞在型図書館にはほど遠いことは明らかです。

図書館には、誰にとっても利用しやすく、どこに住んでいても均しいサービスを提供し、知る自由を保障する（文化の社会保障）責務があります。

新中央図書館でめざす蔵書冊数、必要な床面積

比較項目(実数)	中央図書館の蔵書数(冊)	中央図書館の床面積(㎡)
比較対象		
狛江市の現状	173,994	1,310
人口同規模多摩8市平均	393,476*	2,396
床面積同規模全国7館平均	119,429	1,277
駄倉新中央図書館	?	1,100
市民提案書のめざす規模	350,000	3,362

* 平均蔵書数を狛江市人口に換算し、各図書室蔵書数を除く。

基本方針の保留と市民参加・市民協働による再検討を求める署名にご協力を！

私たちは「ちょっと待って図書館移転連絡会」をつくり、基本方針の保留と市民参加・市民協働による再検討を求めて、署名に取り組んでいます。署名は現在までに3400筆寄せられ、3000筆は市長に提出して市民との懇談を申し入れています。市長はこれに一切応じていません。現在、基本構想をつくるためのワークショップが開かれていますが、そこでも基本方針と進め方に異論が出されています。市民の大切な施設を巨額な市民の税金で作るのですから、市民センターの差し迫ったインフラの改修（トイレ、空調、ガス、電気など）を先行して、市民の声に真摯に耳を傾け、子どもたちに残せる市民センター（公民館・図書館）を市民参加・市民協働で創ろうではありませんか。